

がんばる人が報われる社会へ。

いそだ久美子

電機メーカー勤務、衆議院議員秘書を経て
2019-2023年 区議を務める。2023年4月に落選し
現在は東大大学院でまちづくりを学ぶ。
捲土重来を期して、本号は自腹で活動報告です。 2025 No.2

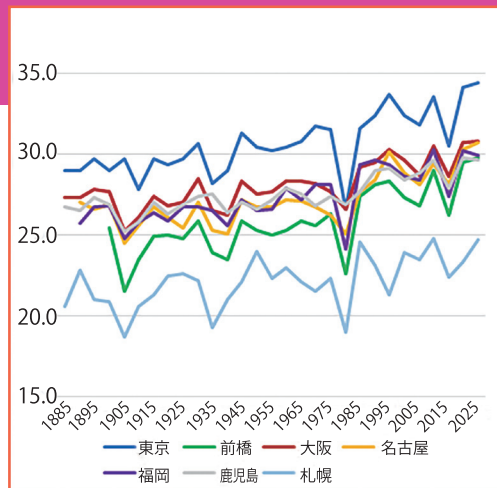


25年夏も暑かった！ わが町、我が家でできる気候変動対策を考える

気象庁のサイトを見ると、1880年代から主要都市の月平均気温が観測されています。意外だったのは九州よりも、夏の最高気温で常連の前橋よりも、東京は8月の平均気温が高いこと。

年平均気温の上昇率は、東京で3.4℃/100年、大阪で2.7℃/100年、名古屋で3.1℃/100年等となっています。ここで、各都市と15地点平均の上昇率の差は、おおよその見積もりとして、都市化による影響とみることができます。

(気象庁ホームページより要約)



(表) 主要都市8月の最高気温変化グラフ(気象庁データよりいそだ作成)

世田谷区で出来る 気候変動の緩和策

再生可能エネルギーを使ってみる



太陽光パネルを設置せずに協力できる

【参加モニター受付中】
住宅用太陽光発電の余剰電力を活用した実証事業をしています(実証試験中～26年3月迄予定)



豪雨の影響を和らげる

雨水浸透施設でゆっくり水をしみ込ませる
助成金もあります！



雨水浸透ます



浸透(トレンチ)管

雨水浸透施設とは、小さな穴が開いたコンクリート製またはプラスチック製の「ます」や「管(トレンチ)」のこと(写真参照)。住宅のお庭や駐車場の舗装によって地中へ浸透しにくい雨水をこの施設で地中へ徐々に浸透させ、道路の冠水や河川の氾濫の抑制にも繋がります。湧水・みどりの保全や創出、ヒートアイランド現象の抑制にも効果があります。(世田谷区ホームページより)

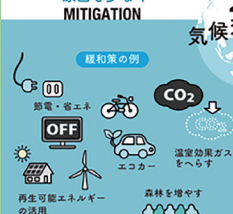


豆知識

気候変動対策の
対応策と緩和策の
違いって？

出典:A-PLATホームページより

緩和とは？ 原因を少なく MITIGATION



適応とは？ 影響に備える ADAPTATION



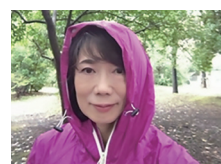
野川をさかのぼって～国分寺市を訪ねる

及川妙子前国分寺市議(5期)と、国分寺市の武蔵国分寺跡、湧水と野川の上流を訪ねました。周辺は歴史公園として整備が進み、市民の憩いの散歩道、児童生徒の学習の場となっています。世田谷区でも野川に沿った緑道・木陰、カフェがあればよいと感じました。東名ジャンクション周辺の工事跡地の整備の折に、国分寺市のデザインが参考になればと思います。



国分寺崖線のみどりを保つ～里山コア会議に参加して

成城三丁目緑地の保全活動に参加。こちらはもと御料林で、崖沿いに樹林と湧水からなる自然が残リ、隣接する明正小学校の里山学習の場にもなっています。夏には外来植物の除去、秋には湧水池の除草、シダの鉄塔広場への移植など、自然を保つにも人の手が要ると実感します。



活動は毎月第三・五木曜日。
ご興味ある方は↓



世田谷区都市デザインフォーラム
「“せたがやの風景づくり”のこれから」に出席(25.秋)

東京農大ほか下北沢、桜新町、二子玉川などの活動団体がパネリスト。区を含め皆の共通認識は「風景づくりに関心が高い区民は多いが、担い手が不足」。ボランティア団体も高齢化し、女性やシニアの就業率も高まり、地域活動の参加者が減りつつあります。落ち葉ひろいリレーなど、身近な活動から始めてみませんか？



現在の学び舎

本郷だより

論文は論より証拠?!

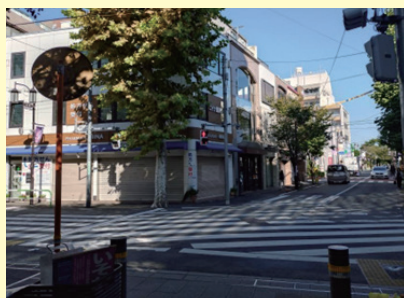
大学院も2年目に入り、修士論文の予備調査をしています。気候変動対策と住民意識を、再エネ・緑化・景観の観点から分析します。皆様にもアンケートやご意見を求めることがあると思いますが、その節は宜しくお願いいたします。



地域の話題

成城学園前北口整備

成城学園前北口の、いわゆる「L字型道路」が電線地下化と歩行空間確保のため整備工事され、街路樹17本が伐採されます(可能な樹木は移植)。工事後は新たに桜の樹が植えられる計画とのことです。工事終了は25年末の予定です。



工事前(25年10月)撮影



Google Earthにいそだ図示



いそだ久美子プロフィール

1966年神奈川県生まれ。県立厚木高校、早稲田大学第一文学部卒。旧姓小室。三菱電機(株)に入社、事務系総合職として勤務。衆議院議員手塚よしお事務所秘書を経て2019年より世田谷区議会議員を務める。2023年の落選後は地元活動を継続しつつ、東京大学大学院にて都市工学を勉強中。

<http://www.isokumi.com>

